

授業科目 高齢期障害作業療法

【担当教員名】 岩崎テル子	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標: G I O>】

- 1) 高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する
- 2) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる
- 3) 高齢者に対する作業療法のプロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する

【<学習目標>又は<行動目標: S B O>】

1. 老化について説明できる
2. 老年期の身体的特徴を説明できる
3. 老年期の心理的特徴を説明できる
4. 老の受容、死の受容、老年期の発達課題について説明できる
5. 老年性疾患・障害を説明できる
6. リスク管理について説明できる
7. 作業療法計画に必要な高齢期障害に関する評価の手段を列挙、説明、実施できる
8. 高齢者に必要な社会資源を列挙できる
9. 高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる
10. 具体的ケースに触れ、作業療法のプログラムを立てることができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高齢社会の問題点 少子高齢社会の問題点	1	講義	
	老年期の特徴 高齢者像	4		
2	老年期の課題と障害像 老年期の身体的特徴 老年期の心理的特徴	2	講義	
		3		
3	老年期の障害学	5	講義	
4	老年性疾患・障害	5	講義	
5	リスク管理	6	講義	
6	高齢者に対する評価 障害高齢者の評価 ①. 身体機能評価 ②精神心理機能評価	7	講義	
7	同上 情報収集、問題点の抽出、評価の留意点、評価のまとめ など	7	講義	
8	高齢者支援の社会制度	8	講義	
9	高齢者への種々のアプローチ	9	講義	
10	作業療法の実際 老化と作業療法	7～	講義	
11	作業療法の実際 痴呆と作業療法	10	講義	
12	症例検討、発表	10	グループ	
13	症例検討、発表	10	グループ	
14	症例検討、発表	10	グループ	

【使用図書】	【書名】	【著者名】	【発行所】	【発行年・価格・その他】
教科書	高齢期作業療法学、	松房利憲他編、	医学書院、	2004、3780円
参考書	痴呆性老人のユースフルアクティビティ、	三輪書店、2002、3,800		
	痴呆性老人のための作業療法の手引、老年者のプログラム	医歯薬出版、老年期の心理と病理 他		

【その他の資料】	高齢者のための知的機能検査の手引、竹内孝仁他、ワールドプランニング、2001、第11刷、¥1,457+税
	随時紹介

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席点 5%	①高齢者問題に関するニュース（新聞・テレビ・ネット）を集めてスクラップ・ブックを作成する。
レポート・発表20%	②高齢者に関する政府の調査統計資料を調べる習慣をつける。
期末試験 75%	③COPMを実施し、高齢者のニーズとその遂行度、満足度を知る。